

環境技術研究所：2025年前期・後期 十四川・産廃K-5 調査

環境技術研究所が市内の富田地区・十四川を調査

十四川概要

十四川は四日市市北部の大矢知地区から近鉄富田駅近隣にある富田地区中心部を流れ、四日市港に流入する延長約4kmの小河川である。河床の大半はコンクリートによる三面張りとなっている。中流から下流の河道は直線的で、下流部の両岸沿いには約600本のソメイヨシノ桜が植林されており、この地域の人々の憩い場となっている。「富田地区まちづくり協議会」、「十四川的环境を守る会」が中心となって河川の清掃、堤防の植樹、浄化のための微生物投入[EMだんご]等の環境活動を行っている。

河川の上流部は田畑や森林地帯であるが、水田の多くは休耕地になっており、運送施設や倉庫が建設されている。すでに閉鎖された産業廃棄物の処分場もあり、これらからの汚染も懸念されている。平成21年に四日市市大矢知地内、県道64号上海老茂福線沿い、北勢バイパス西側に面積8336m²、貯水量20325m³の洪水対策用の調整池が設置されたが、通常時に河川水の流入はなく、河川水質へ影響は無いと考えられる。

中流域は水田と住宅地であるが、近年、飲食店、スーパーマーケットなどの商業施設が増加している。この地域は下水道の空白地域であり、生活排水による汚染が心配される。下流部は住宅地であるが、当該地域では下水道が普及し、しかも河床が高いため生活排水が流入しにくい構造となっている。中流部の東川原橋・北嶋ごみ集積場直上流に朝明川からの農業用導水路があり、春季も少し、秋季から冬季にかけて、余剰の用水が十四川に導水されていて、流量が増加し、水質改善に効果がある。



5地点（上図参照）を調査地点とした。地点の概要は以下のとおりである。

地点	概要	備考
St1	河口部の豊栄橋	直下に排水ポンプ場があり、海水の逆流を抑える構造となっているが、塩化物イオン値が時々高い
St2	水防倉庫前（近鉄）	近鉄踏切の北西側で、四日市高校が東側近くにある
St3	東川原橋	この橋の上にごみ集積場があり、また朝明川から導水した農業用水が流入する場所
St4	スーパーサンシ下	サンシ・コメリの直下流で川幅が少し広がっている。通常時は水量が少ない。商業施設、住宅からの排水の流入がある。水には濁りがあり、臭う場合もある
St5	水田地帯（上流部）	北勢バイパス上流の水田・畑作地帯にあり、川幅が狭い。上流域は森林、休耕地であるが、64号線を挟んで東側に、トラックターミナルや倉庫が建設され、その排水が流入している

十四川調査結果：概要

この十四川は10年ほど前から富田地区市民センターや「十四川を守る会」の稲垣さん（ご高齢で欠席が多いが）らと共同で調査している。まだ、乾燥期に入っていない秋期では、中下流部の北鶴町（St3）で朝明川からの導水を少ししている。春・秋とも数日來の好天気で、中下流の流量は春は少な目であった（秋は導水で多め）。中流部のスーパーサンシ付近でも、流量は少なく、かつ家庭・飲食店や田畑からの排水流出があり、春はもちろん晩秋でも有機汚濁が認められ藻類が川床に繁茂し、窒素分やCOD（化学的酸素要求量）値はやや高めである。河口付近の豊栄橋では、樋門が閉まって流れが滞留し、底はヘドロでやや海水が混じっている。

十四川調査結果2025年：

2025年6月は2日前の降雨でやや流量が多く、相対的に水質は良好で、調査日はやや暑く水温は上昇気味であった。朝明川からの導水は若干流入していた。この6月は、まだ梅雨時ではなく、例年に比べれば遅く、6月上旬は晴れの日が多かった。流量も普段よりも多く、周囲からの汚染物質流入がやや目立った。藻類繁茂による溶存酸素DO値は高めで、有機物量のCOD値も高い。



St. 1 十四川最下流部の豊栄橋で採水作業、閘門閉鎖滞留中（6月、下は川底）



St. 3 北鶴町ごみ置き場の下、朝明川導水↑あり、6月流量は上流は少な目

2025.6.5 春季

項目	St1	St2	St3	St4	St5
pH	7.8	9.3	9.8	8.5	7.6
DO	10.2	12.9	12.2	10.6	8.2
EC	0.333	0.235	0.255	0.274	0.269
Temp	21	25	29	27	19
流量 (m3/s)	---	0.026	0.024	0.023	0.009
COD	3.9	5.2	6.8	4.1	3.7
NO ₂ -N*	0.05	0.02	0.02	0.018	0.10
NO ₃ -N	1.15	1.16	1.44	1.23	1.78
PO ₄ -P	0.08	0.16	0.18	0.18	0.06
NH ₄	0.04	0.09	0.24	0.13	0.14
ORP	119	131	140	89	122
Cl	60	60	32	32	43

*パックテストによる。

St1 豊栄橋 St2 水防倉庫前 St3 東川原橋 St4 コメリ下 St5 北勢バイパス上

川幅(m): St2 St3 St4 St5
 4.2m 3.6m 4.6m 1.m

2025.11.10 秋季

項目	St1	St2	St3	St4	St5
pH	8.8	8.6	8.4	8.7	7.6
DO	13.1	11.6	10.4	10.6	8.1
EC	0.235	0.188	0.145	0.226	0.293
Temp	16	15	16	16	16
流量 (m3/s)	---	0.032	0.037	0.021	0.028
COD	1.9	3.4	2.4	3.3	3.5
NO ₂ -N*	<0.005	0.005	<0.005	0.005	<0.005
NO ₃ -N	1.22	1.30	1.24	1.82	1.91
PO ₄ -P	0.10	0.14	0.10	0.17	0.07
NH ₄	<0.02	0.02	0.03	<0.02	0.10
ORP	75	94	120	86	106
Cl	39	21	18	25	27

*パックテストによる。

大矢知・平津の産廃場跡地：西水路の更に西の K5 地点 2025 年：

2025.11.10

地点	K5	K5 上流	その下流	
水温	15	15	15	
pH	7.5	7.7	7.9	
EC	1796	861	975	
ORP	115	37	65	
COD	14.5	9.2	9	
CL	363	170	195	
NH4	ND	ND	ND	バック T
F	0.8	0.6	0.7	バック T
PO4-P	0.11	0.04	0.05	
NO2-N	ND	ND	ND	バック T
NO3-N	4.1	2.3	2.4	
B	10	5	5	バック T
DO	6.5	9.6	9.4	

大矢知産廃西水路西の K-5 地点の調査結果 2024 年：

大矢知・平津地区の産廃跡地で、西水路の西の周辺部・通称猿ヶ谷の K-5 地点では、近年、以下の通りダイオキシン類が出続けている。

①2022 年 3 月 30 日に K-5 地点の表流水では 4.3 pg/L (平津新町自治会有志が環境保全事業団に分析依頼)。

②2023 年 3 月 6 日に、県の大気・水環境課が環境総合リサーチに依頼して採水・分析したところ、1.3 pg/L であった。県の環境部は②の数値で、少し超過 (環境基準は 1 pg/L) したが、沈静化しているとの見解で以降、調査は打ち切ったとのこと。



今回 2025 年の K-5 地点の継続調査結果は以下：

EC 値や塩化物イオン、フッ素イオン
さらに硝酸態窒素濃度や COD も高い。

2025年12月にK-5地点のPFAS分析をT業者に依頼して調査：

PFOS：17ng/L

PF0A：250ng/L

であった。(11月10日採水、12月1日業者分析)

K-5地点現場地図：

